

### 1. 開催日時

令和 4 年 7 月に開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大予防の為、審議は文章による意見交換で行なった。

### 2. 参加者

委員長：吉岡忍

委員：竹中尚人、渡邊健一、池田哲雄、砂川浩慶、宮崎美紀子、笹田佳宏、長谷川晶一

株式会社サテライト・サービス：加藤浩輔、福本洋、窪田正利

JCOM 株式会社：斎藤弘之、木村秀行

株式会社フジテレビジョン：門澤清太

### 3. 議題

- 1) 『自然に学べ！バイオミミクリー・ラボ』 アニマルプラネットで放送
- 2) 『ノブゴルフクラシック』 フジテレビ ONE スポーツ・バラエティで放送

議題番組について各委員から次のような意見が出された。

#### 1) 『自然に学べ！バイオミミクリー・ラボ』

- ・ 革新的技術やハイテク製品の開発に、野生の生き物たちの能力や習性がどう活かされているかを具体的に探求していく番組というコンセプト自体がユニーク。作りは子ども向けだが、大人も十分楽しめる。日米文化の発想の違いといってしまうまでも、日本の制作者たちにこそ本番組を見て、科学番組のあり方をぜひ考えていただきたいと思う。
- ・ なぜ日本でもこの手の番組を制作しないか。AI やパソコンなどのツールにより、誰でも世代を超えて科学の進歩に参画できるという、時代の流れを実感しました。子供たちの好奇心と、スマホや電子機器の設定も、番組を良い流れに導いてくれているようです。さらに科白も、吹き替えで簡略化されていて、見やすく、かつ見ごたえがありました。
- ・ 日本語吹き替えなのも字幕を追うのが難しい未就学児～小学生に親切。実験も、マットの上で飛び跳ねる、ホッピングでジャンプして心拍数を計るなど、普通の家庭でもすぐのできる簡易なもので、テレビを見た子供たちが体を動かしたくなるのでは。単なる科学教養

番組ではなく体験を共有できるつくり方になっている。「マットの上で跳んだら足が疲れな  
い」という実験は大人なら「わざわざやらなくてもわかること」と思ってしまうが、それ  
は大人の常識。子どもの関心、理解度に寄り添っている。30分の短い番組にオフロード  
車と潜水艇の2ネタは盛り込みすぎでは、とも最初は思ったが、子供の集中力を考える  
と、2ネタでちょうど良いのだろう。子供向け番組の在り方を改めて考えさせられた。

- 今までも、今も人類は自然界から全てを学び、生活に役立てている。しかし、いつしか人  
間は自然界を見下し、それを利用する事に翻弄し、現在起こっている様々な問題に直面さ  
せられている。このコンテンツは、その原点を見つめ直させてくれる素晴らしい作りにな  
っている。「バイオミクリー」と云う、難しい学問用語を現代の子供達の目を通して実  
にわかりやすく見せてくれる映像技術も素晴らしい。
- こちらの子供科学番組は、改善の余地があると思いました。企画の狙いも、配役の設定  
も、テンポ感もとても良いのですが、演出に欠点が目立ちます。ただ、映像の美しさは、  
さすがアニマルプラネットで、この面は秀逸と思います。
- (日本のテレビ局は)地上波、BS、CS(+配信)と多くの媒体を持っており、その中で幼  
児・小学生向けの番組をどう編成・制作していくかはもっと考えられて良いと思う。テレ  
ビは視聴習慣が大事なことは周知のことであり、このような番組を参照して、独自の展開  
を求めたい。
- この番組を見て初めに思いついたのは、M. マクルーハンの著書『メディア論～人間拡張の  
諸相』である。マクルーハンは、『メディア論』の中で、ラジオは耳の拡張、テレビは眼の  
拡張、さらに情報メディアにおさまらない他の技術、たとえば「家」も皮膚の拡張であ  
り、自動車は足の拡張とらえた。この番組は、人類が創りだしてきた科学技術は、人間の  
機能を拡張させてきただけでなく、自然界に存在するものを応用し発展してきたというこ  
とを人々に伝えており、子どもだけでなく、あらゆる世代の知的好奇心を刺激する番組だ  
と思う。そうした意味では、家族で楽しみ地上波で放送しても多くの視聴者に受け入れら  
れる番組だと感じる。
- オープニングで「飛行機とコンドル」「バネとカンガルー」「スクリュウとサメ」など、ま  
ったく小難しくなく、さりげなく「バイオミクリー」の本質を表現している点は秀逸だ  
ったと思います。このテーマは「自然」と「科学」の融合がメインテーマとなるため、「動  
物(自然)を愛するロバート」と「科学オタクのイザベル」という両者をメインに据えた  
のは、制作者の意図が感じられて面白かったです。視聴前には「もっとお説教臭いのか  
な?」という先入観を持っていましたが、視聴後の感想としては想像以上に面白かった  
し、「今後はどんなものが登場するのだろうか?」と、素直に興味を持てる番組でした。

※委員からの質問・意見に対し、株式会社ワーナーブラザース・ディスカバリー・ジャパンから回答

【意見】

動物好きの少年と科学オタクの少女は、あらかじめ決められたストーリーに沿って、二人が演じているだけに見える。見ていても、見る側が何かに気づいていって、見終わったときに目の前が開けたという驚きが少ない。短時間番組なので、話の展開が速すぎるせいだろうか。

【回答】

ご指摘の通り、二人がもう少しテーマを深掘りして何らかの気づきを得る場面には演出的にもっと工夫できるかもしれません。ただ、子どもがジャイルズからのヒントを手掛かりに実験を通して答えを探っていくというスタイルは、自由研究のようで子どもの探求心を刺激する作りになっているのかなと思います。

【意見】

「バイオミクリー・ラボ」という邦題は、もう少し工夫できなかったのか。バイオミクリーという言葉が世間に浸透しているとは思えない。NHKの「昆虫すごいぜ」のように視聴者の興味を引くタイトルが望ましい。

【回答】

確かに耳慣れない言葉なので邦題に使用する際は悩みました。しかし、学校の授業でも最近取り上げられるSDGsにおいてバイオミクリーは重要なテーマの一つであり、近年注目されている概念です。それをあえて邦題に入れることで、このキーワードについて子どもだけでなく広く世の中に知ってもらいたいと考えました。そのうえでもっと視聴者の興味を引くタイトルにできればよかったです…。邦題にはいつも苦労しています。

【意見】

(アニマルプラネット) 本来の強みである、動物映像をもっと長く、ふんだんに見せた方が得だと思います。理論的な面で「深掘り」するのが難しければ、動物映像をふんだんに見せることで、満足度をアップさせる方法もあるはずです。アニマルプラネットの最大の利点を生かし切れていない演出が、もったいないなと感じた。

【回答】

動物映像については、確かにもっとふんだんに見せる方法もあると思いました。ただ、前述の通りこれは動物専門チャンネルのために制作されたものではないため、科学的探究のほうに力点が置かれているのだと思います。

**【意見】**

「SUBA-ROO」がバラスト水方式でなく、浮力を利用して潜水する仕組みは理解できたが、最初に提示された「細かい動き・安全」という点については、ほとんど説明がなかったことに物足りなさを感じた。

**【回答】**

所々説明が足りない部分がある点については私も感じました。子どもの向けの30分番組で、科学的な内容を冗長にならず、かつ分かりやすく説明し、大人も満足する作りにするのはなかなか難しいのかもしれませんが…。

**【質問】**

30分番組で、15分ずつ2テーマを扱うというのも、冗長に過ぎずよかったと思います。今後、SDGsに象徴される環境問題にまでテーマが及ぶのか、番組スタッフはどのように子どもが関心を持つように構成、展開していくのかも楽しみです。

**【回答】**

SDGsには直接的には言及していませんが、エネルギー効率や船の燃費、アリ塚の空調機能、海洋汚染、風力発電など環境問題を考えさせられるテーマも数多く取り上げられています。

**【ご意見全般について】**

当番組をご視聴・審査していただき誠にありがとうございます。

アニマルプラネットでは動物の生態を扱った番組を数多く放送してきましたが、今回のような子供を主人公にした科学番組は初めてです。新しい試みとなりますが、バイオミクリーは近年SDGsでも注目されている概念であり、それをテーマにした番組は専門チャンネルとして放送する価値があると考えました。

このシリーズは元々Discovery Kidsという子ども向けのチャンネルのために制作された番組で、主に東南アジア地域で放送されていました。Discovery Kidsは動物専門チャンネルではないので、動物に主眼を置いたストーリーにはなっておりませんが、自然と科学のつながりについて子ども目線で楽しみながら学べる興味深い内容になっていると思います。

委員の皆様からは番組内容や企画・構成などについて概ね好意的なご感想を頂き、大変うれしく思います。また編成サイドが気付かないような鋭いご指摘やご意見も頂戴し、視聴者の声として大変参考になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

多くの視聴者がこの番組をきっかけに自然・動物と科学の進歩の関係、そしてバイオミクリーに興味を持っていただければ幸いです。

## 2) 『ノブゴルフクラシック』

- 他にも芸人、タレントを使ったゴルフ番組をよく見かけるが、どれも「カワイイ女子プロ＋芸能人＝よくあるバラエティ番組」と云う構図で、楽しいがゴルフ番組としてはつまらない。このコンテンツが違うのは、アマチュアゴルファーが「知りたい」「観たい」事を中心に作られている所。フジにしか出来ないバラエティ番組だと思う。
- 視聴しながら感じたのは、「地上波バラエティ」との違いであり、「CS放送のあり方」でした。超人気者の千鳥・ノブさんをMCに据えながら、番組を通じて、「ほぼ笑いが無い」という点を「よし」とするか、そうでないかでこの番組の評価は大きく変わってくることでしょうが、個人的には「是」と評価します。芸人の性として、「笑いがほしい」という職業的欲求よりも、「ゴルフを真面目に学びたい」というノブさんのスタンスには好感を持ちました。大げさなテロップも、効果音もなく、いわゆる「普通のゴルフ中継」に徹している点こそ、「地上波バラエティ」とは違う「CS放送のあり方」として存在意義があると思いました。
- ゴルファー憧れの川奈のコース、解説・戸張さん&実況・谷岡アナ、プロキャディー佐藤賢和さん、対戦相手大江香織プロと、何もかも「本物」を揃えたことに感心した。これくらい本気でやらないと、芸能人が特権を使って電波で遊んでいるだけの番組になってしまっただろう。何よりも千鳥ノブが全くふざけておらず、心から貴重な機会を楽しんでいることが伝わってきた。
- ゴルフはプレーしたことがないので詳しいことは良くわからない私でも、プレーを見せる前にホール戦略を解説することで、スポーツとしてのゴルフの醍醐味に触れられるものになっている。
- プロキャディーの存在にも驚かされました。「ネガティブシンキング」と「ポジティブシンキング」。「バンカー嫌だな」ではなく「その手前に止めれば良いかな」という思考回路ですね。「アマチュアの方は、キャリーの距離とランの距離がわかっていない」といった科白はプロキャディーのメンタル本を制作してみたくもなりました。
- ノブさんのスイングを一目見たときから、回転軸がブレず、戸張捷さんいわく「再生度が高いストローク」であることが、素人の私にもわかりました。やはり、ゴルフというスポーツは「選ばれし者」が実践するべきで、「選ばれし者」がこの番組を見れば、各段の進歩で上達すること必至です。
- 番組存続中に「念願の80台」を実現できるのではないかと、ノブさん真摯な姿を見ていて、そんな感想を抱きました。今後、どのような経験を経て、彼が上手になっていくのか？あるアマチュアゴルファーの成長譚として見守る楽しさもありました。

- ・ この番組のポイントは「ホール戦略パート」であり、プロキャディーの佐藤賢和氏の存在にあると思います。一流プロ選手のパートナーである佐藤氏によるノブさんへのアドバイスは、一般ゴルファーにとって、大いに参考になるのではないのでしょうか？ ときにメンタルトレーナーでもある佐藤氏のアドバイスはこの番組の白眉だと思います。  
川奈の名前は聞いたことがあるという程度の人でも、川奈ホテルのゴルフ場は、海があつて海風があつて、火山灰の土地だから、こんなに難しいんだという事がよくわかる作りでした。コースごとに最初にある戦略パートのコーナーで、コースだけでなく傾斜まで教えてくれるので、この戦略パートで大変ワクワクし、引き込まれました。
- ・ タレントにプレーさせるゴルフ番組は少なくないが、タレントのキャラを立てさせようとするせいか、ゴルフというスポーツから離れてしまい、かえってつまらない内容になっている。今回のノブさんも売れっ子タレントであり、ゴルフの腕もかなり上と見受けられる。しかし、それがいやみにならなかったのは、彼が「オレがオレが」のタレントでないことと、本心からのゴルフ好きのせいだろう。そのよさを失わず、あくまでゴルフというスポーツのおもしろさ、微妙なコツや心理の綾を追いつづけてもらいたい。

#### ※委員からの質問・意見に対し、株式会社フジテレビジョンから回答

##### 【意見】

佐藤プロキャディーの凄さは実感した一方、大江プロの真剣さが若干伝わらない感じがあつた。この種の番組はノブ以外の「プロ」が真剣になってこそ面白みが増す。プロに番組で真剣さを求めるのが難しいことは理解するが、苦笑しているシーンなどは省き、編集で真剣さを出すことも可能ではないか。

##### 【回答】

番組初回ということで我々制作陣も手探りで、プロに対して十分に意図を伝えきれなかったのだと思います。今後も意識しながら編集も駆使して番組制作に臨みたいと思います

##### 【意見】

ターゲットは、ゴルフをやっている視聴者だと思うが、ゴルフをやらない千鳥やノブのファンも見ていると想定すると、「再現性」「キャリア」など専門用語に関する説明があつてもよいのではなかったか。

##### 【回答】

ご指摘通り、些か説明不足の面も感じております。匙加減は重要になりますが、今後は今一度、未経験者の立場に立ち返って制作して参ります

**【意見】**

スポンサーと絡めた「特別ミッション」については、特に事前の説明もなく、淡々と登場したこともあり、あまり印象に残っていません。今後も続けていくのならば、「なぜ、この場面でこのクラブを使うのか？」という「特別」な理由なり、説明が必要だと感じました。

**【回答】**

本件、メーカーからの用具貸与は受けておりますが、スポンサーではありません。

この企画の意図としましては世のゴルファーたちが須く興味がある、「話題の新製品」を紹介したいということであったのですが、少々使用する側（ノブ）に不利なルールでありますので、次回収録（川奈→富士桜の次）にはなりますが、やり方を改めようと考えております。

**【質問】**

今回は60分で3ホールまででしたが、仮にこのペースで、全18ホールを「3ホールずつ×計6回」繰り返されるとしたら、かなり冗長に思います。まさか、そのまま進んでいくとは思いませんが、18ホールを飽きさせずにどのように見せていくのか？ どのように今後進めていくのか？ その辺りは気になるところです。

**【回答】**

1シーズン（1ゴルフ場）での対戦は全3回9Hで行っています。従いまして、#1～#3が「川奈ホテルGC×大江香織」#4～6が「富士桜CC×石川遼」という形になります。

**【ご意見全般について】**

この度は『ノブゴルフクラシック』に関しまして貴重なご意見を賜り誠に有難うございました。

この番組を制作するにあたり意識しておりました「ゴルフバラエティではなくゴルフ番組を作る」というテーマに関して非常に高く評価して頂きましたこと制作一同、感謝の念に堪えません。引き続き視聴者を惹きつけるコンテンツを生み出せるよう努力して参ります。

**4. 次回予定**

令和4年11月中の開催を予定。議題対象番組は調整中。

以上